

7 資料編

(1) 基準など	59
(2) 水の用途など	59
(3) ダムについて	60
(4) 海水などの淡水化	60
(5) 雑用水の利用	61
(6) 地下水の利用と規制	62
(7) 利根川の主な洪水	62
(8) 利根川水系の濁水	63
(9) 県内河川の濁水（上水）	64
(10) 千葉県の水利用	64
(11) 農業用水	64
(12) 上水道	65
(13) 工業用水	65
(14) 水資源開発施設	
1) 水資源開発施設一覧	66
2) 県内の主な水資源開発施設	67
ア) 利根川河口堰	67
イ) 霞ヶ浦開発	67
ウ) 霞ヶ浦導水事業	68
エ) 北千葉導水事業	68
オ) 印旛沼開発	69
カ) 房総導水路	71
(15) 農業用水の合理化（江戸川・坂川用水）	71

(1) 基準など

1) 長さ

1 km = 1000m, 1 m = 100cm

2) 面積

1 a (アール) = 10m × 10m = 100m²

1 ha (ヘクタール) = 100m × 100m = 10,000m² = 100a

1 km² = 1,000m × 1,000m = 1,000,000m² = 100ha

3) 体積

1 m × 1 m × 1 m = 1 m³ ≒ 1 トン

*一般に1立方メートル又は1m³で表すのが正しい。ただ水1立方メートルは、約1トン(1,000kg)の質量なので、略して1トンと呼ぶことが多い。

4) 高さ

T.P.: 国土地理院で表示している全国的な標高で、東京湾中等潮位の海面からの高さを示している。(Tokyo peil)

Y.P.: TP標高設定以前から河川工事などで使われたローカルな基準の一つで、江戸川・利根川の基準として用いられ、TPよりも84cm低い基準となっている。(Yedogawa peil)

*そのほかにも、Arakawa peil (東京)、Osaka peil (大阪) などがある。

(2) 水の用途など

1) 上水道…水道ともいわれ、家庭に飲み水など生活用水を供給する。

2) 工業用水道…工場などで使う水を供給する。

3) 農業用水…稲や作物を育てるため、水田や畑に川や沼の水を供給する。
かんがい用水ともいう。

4) 下水道…台所や水洗トイレなどのよごれた水を集めて、きれいにして川や海に放流する。

5) 雑用水…飲用の水質を必要としない、水洗トイレなどに使用する。下水処理水や雨水などを水源とする。

(3) ダムについて

1) ダムの目的

① 洪水調節

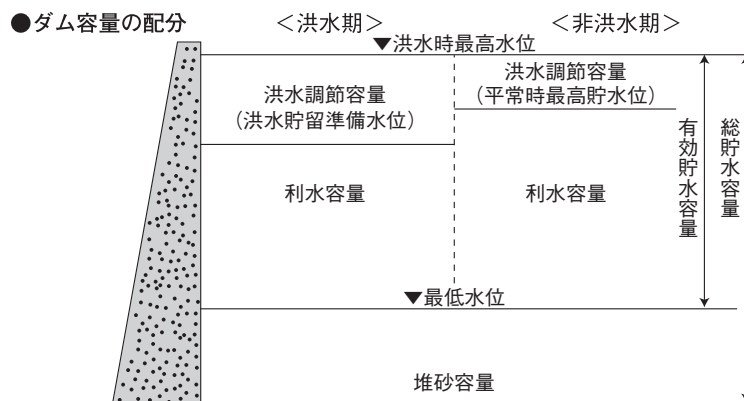
洪水時に河川流量を調節して、下流域の洪水被害を軽減する。

② 流水の正常な機能の維持

農業用水など既得用水の安定取水、河川環境の保全等のための流量を確保する。

③ 都市用水・かんがい用水の開発および発電

社会の発展に伴って増加する都市用水（水道用水・工業用水）、かんがい用水、発電用水などの需要に対して供給する。



2) ダムの種類

〈コンクリートダム〉

アーチダム…主として構造物のアーチ作用により、水圧等の外力に抵抗して貯水機能を果たすようにコンクリートでつくられたダム。水平断面をとると円弧や放物線等の形状を有している。

重力式コンクリートダム…ダム堤体の自重により水圧等の外力に抵抗して、貯水機能を果たすようにコンクリートでつくられたダム。一般的には直線形で、横断面は基本的には三角形で構成されている。

〈フィルダム〉

ロックフィルダム…堤体のうち、荷重に対する堤体の安定性を受け持つ部分が、主として大きな岩石によって盛立ててつくられたダム。

アースダム…堤体の大部分が土を主材料として作られたダム。

(4) 海水などの淡水化

海水から塩分などを除去し淡水を得る技術が、海水淡水化技術である。この技術は、地下などからの不純物除去にも利用されている。海水などの淡水化は、全世界で 73.814 千 m^3 /日（2018 年 10 月時点、1980 年からの合計）の造水能力となっている。日本では、生活用水として使用されている淡水化プラントが 38 カ所あり、その造水能力は、112 千 m^3 /日である。（2025 年 3 月末現在、1990 年からの合計。日量 10 m^3 未満、工事用及び可搬式のプラントを除く。）海水などの淡水化は、造水コストが高いため、日本では水資源の乏しい離島など特殊な事情がある場合に限られている。

世界の海水など淡水化プラント造水能力の地域別比率(2018年10月時点)

(単位：千 m^3 /日)

	中東・ 北アフリカ	東アジア・ 太平洋	北アメリカ	西ヨーロッパ	中米・ カリブ海	南アジア	東ヨーロッパ・ 中央アジア	サハラ以南 アフリカ	総計
造水能力	41,307,306	9,326,037	6,960,829	6,735,495	4,445,954	2,145,681	1,632,518	1,260,368	73,814,188
割合	56.0%	12.6%	9.4%	9.1%	6.0%	2.9%	2.2%	1.7%	100%

※平成30年以降調査を行っていない。

(5) 雑用水の利用

雑用水利用とは、汚水処理水や雨水などを、水洗トイレや散水・修景などに利用することをいう。限りある水資源のなかで、水を安定的に供給していくためには、ダムなどの水資源開発だけでなく、雑用水利用など水の有効活用が重要である。

県内での雑用水利用状況は、雨水の利用も含め、幕張新都心などで行われている。千葉県では、県下全域で、規模の大きな建築物を対象に、水洗トイレ用水として、汚水処理水や雨水を再利用するための施設を設置するよう指導している。

「雑用水の利用促進に関する指導要綱」平成8年10月1日施行

(抜粋) 対象建築物

下水道	項目	規模
普及地域	計画1日平均使用水量※	300m ³ 以上
	建築延床面積	3万m ² 以上
未普及地域	計画1日平均使用水量※	100m ³ 以上
	建築延床面積	1万m ² 以上

注) 表のいずれかの項目に該当する場合、要綱の対象となる。

※計画1日平均使用水量とは、当該建築物の計画1日最大使用水量の80%

千葉県での雑用水利用の主な実施例

施設名	用途
東京ディズニーランド	トイレ、散水
東京ディズニーシー	トイレ、散水
幕張新都心・花見川終末処理場	トイレ、散水、修景
成田国際空港	トイレ、冷却水

幕張新都心地区の下水処理水の再利用（再生水利用下水道事業）

		概要
事業主体		千葉県
供用開始		平成元年10月
給水能力		4,120m ³ /日最大
処理方式		凝集沈殿+砂ろ過+オゾン+塩素滅菌
送水管延長		口径100~300mm 延長2.76km
受水槽		5ヶ所
塩素滅菌		注入ポンプ3台
事業費		1,150,000千円
対象施設	公共(3)	県立幕張海浜公園、メッセモール、花見川終末処理場
	その他(5)	アパホテル&リゾート〈東京ベイ幕張〉、幕張メッセ、ワールドビジネスガーデン、幕張テクノガーデン、エム・ベイポイント幕張
	計	8施設

(6) 地下水の利用と規制

地下水は貴重な水資源であり、水道用、農業用などに利用されているが、その過度な利用は地盤沈下や地下水位の低下を招く。このため、法律（工業用水法、建築物用地下水の採取の規制に関する法律）や条例（千葉県環境保全条例、千葉市環境保全条例）で指定された地域において、地下水採取の規制が行われている。

これらの結果、地域で差異はあるものの、地下水揚水量は減少傾向にある。

条例など規制地域内地下水揚水量（令和6年）（単位：千 m^3 /日）

地域	工業用	ビル用	水道用	農業用	その他	計
東葛	19.5	3.2	38.5	17.9	4.1	83.2
葛南	5.9	0.5	37.2	6.4	0.7	50.7
千葉・市原	4.9	0.5	43.8	35.0	1.4	85.5
君津	2.0	1.0	21.1	16.5	3.4	44.0
北総	9.1	3.6	64.0	16.4	3.5	96.6
合計	41.4	8.7	204.7	92.2	13.1	360.1

（注）四捨五入しているため、各地域の計と合計が異なる場合がある。

各地域の市町村名

東葛：野田市、柏市、流山市、松戸市、我孫子市

葛南：浦安市、市川市、船橋市、鎌ヶ谷市、習志野市、八千代市

千葉・市原：千葉市、四街道市、市原市、長柄町

君津：木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

北総：白井市、印西市、成田市（旧大栄町を除く）、富里市、佐倉市、八街市、山武市（旧山武町に限る）、栄町、酒々井町、芝山町

(7) 利根川の主な洪水

利根川の洪水で規模の大きいものでは、宝永元年(1704)、寛保2年(1742)、天明6年(1786)、弘化3年(1846)、明治43年(1910)などが記録に残っている。

戦後においても、昭和22年(1947)、昭和24年(1949)など何度も洪水に見舞われており、近年においても様々な河川で被害が生じている。

時代	年号	西暦	時代	年号	西暦	時代	年号	西暦
奈良時代	天平宝字2年	758	大正時代	大正6年10月	1917	平成時代	平成10年9月	1998
鎌倉時代	建永元年	1206	昭和時代	昭和10年9月	1935		平成13年9月	2001
江戸時代	寛永元年8月	1624		昭和13年6月、9月	1938		平成14年7月	2002
	宝永元年7月	1704		昭和16年7月	1941		平成16年10月	2004
	享保13年9月	1728		昭和22年9月	1947		平成19年9月	2007
	寛保2年8月	1742		昭和23年9月	1948		平成27年9月	2015
	宝暦7年4~5月	1757		昭和24年8月	1949	令和時代	令和元年10月	2019
	天明3年6~7月	1783		昭和25年8月	1950			
	天明6年7月	1786		昭和33年9月	1958	令和時代		
弘化3年6月	1846	昭和34年8月		1959				
明治時代	明治18年7月	1885		昭和41年6月	1966			
	明治23年8月	1890		昭和47年9月	1972			
	明治27年8月	1894		昭和49年9月	1974			
	明治29年7月、9月	1896		昭和56年8月	1981			
	明治40年8月	1907	昭和57年8月、9月	1982				
	明治43年8月	1910	昭和61年8月	1986				

(8) 利根川水系の渇水

近年、全国的に異常気象による渇水が発生しており、千葉県でも水源として大きく依存している利根川で渇水が多発している。

1) 近年の主な渇水

	対象		取水制限期間	取水制限	実際の取水制限期間	制限開始日の ダム貯水量(万m ³) 【午前0時現在】	貯水率	利根川 上流ダム	
	利根川 本川	江戸川							
平成2年	○	○	7/23~9/5	10%	7/23~8/3	14,985	55%	7ダム体制	
	○	○		20%		8/3~8/10	12,300		45%
平成6年	○	○	7/22~9/19	10%	7/22~7/29	18,532	54%	8ダム体制 (H3年度~)	
	○	○		20%		7/29~8/16	16,061		47%
	○	○		30%		8/16~8/21	9,473		28%
	○	○		20%		8/30~9/8	9,320		27%
	○	○		10%		1/12~3/17	17,522		38%
平成8年	○	○	8/16~9/25	10%	8/16~8/20	15,817	46%		
	○	○		20%		8/20~8/23	12,823		37%
	○	○		30%		8/23~8/28	10,854		32%
	○	○		20%		8/31~9/9、9/13~9/14	9,597		28%
平成9年		○	2/1~3/25	10%	2/1~3/23	19,402	42%		
平成13年	○	○	8/10~8/27	10%	8/10~8/14	17,486	51%		
平成24年	○	○	9/11~10/3	10%	9/11~9/24	13,105	38%		
平成25年	○	○	7/24~9/18	10%	7/24~9/6	17,690	52%		
平成28年	○	○	6/16~9/2	10%	6/16~8/24	17,430	38%		

2) 利根川上流・ダム貯水容量図

利根川上流 ダム貯水容量図 (矢木沢・藤原・相俣・蕨原・下久保・草木・渡良瀬・奈良俣・ハッ場)

(万m³)

区分	期間	矢木沢	藤原	相俣	蕨原	下久保	草木	渡良瀬	奈良俣	ハッ場 [※]	9ダム計
洪水期利水容量	7月1日~9月30日	11,550	1,230	1,060	300	8,500	3,050	1,220	7,439	2,500	36,849
非洪水期利水容量	10月1日~6月30日	11,550	3,101	2,000	1,322	12,000	5,050	2,640	8,500	9,000	55,163

(注) 昭和53年から6ダム、平成2年から渡良瀬遊水池が加わり7ダム、平成3年から奈良俣ダムが加わり8ダム、令和2年からハッ場ダムが加わり9ダムとなる。

※ ハッ場ダムの洪水期は、7月1日~10月5日

